

第1回 千葉市部活動地域移行推進協議会

2023年8月4日
千葉市・千葉市教育委員会

【報告事項等】

- 1 国（文科省・スポーツ庁・文化庁）・千葉県・千葉市の動き
- 2 千葉市の部活動を取り巻く状況
- 3 千葉市における地域移行に関する取り組み
- 4 各団体等の現状等

【議題】

- 1 改革推進期間における地域移行の方向性について
- 2 その他

1 国（文科省・スポーツ庁・文化庁）・千葉県・千葉市の動き

文科省・スポーツ庁・文化庁

	名称	主な内容
平成30年3月 ／12月	運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン 文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン	生徒にとって望ましいスポーツ環境・文化芸術環境を構築するという観点に立ち、 適切な休養日等 を設定するなどし、地域、学校、競技種目等に 応じた多様な形で最適に実施されることを目指す。
令和2年9月	学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について	持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できる改革が必要 との認識のもと、部活動は必ずしも教師が担う必要のない業務であることを踏まえ、部活動改革を行うこと
令和4年6月	運動部活動の地域移行に関する検討会議提言	深刻な少子化、教師にとって部活動指導が大きな業務負担などの課題を解決するために、令和5年度から令和7年度末を「改革集中期間」として、 休日の運動部活動の段階的な地域移行を行うよう提言
令和4年12月	学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン	将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保 するため、速やかに部活動改革に取り組む必要がある。 「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、 令和5年度から令和7年度末を「改革推進期間」として 生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備。

千葉県

	名称	主な内容
平成30年6月	安全で充実した運動部活動のためのガイドライン	国のガイドライン策定を受けて、運動部活動の活動時間及び休養日の設定その他適切な運動部活動の取組に関する「運動部活動の在り方に関する方針」を策定
令和5年3月	地域全体で子どもたちを育てる学校部活動と地域クラブ活動の在り方に関するガイドライン	「誰でも（年代や立場を問わず）やりたい（関わり方に関わらず）スポーツ・文化芸術活動が（目的や志向に応じて）できる（選び実践する）」環境の構築。 改革推進期間で、段階的な地域移行を行う よう県内自治体に求めている。

1 国（文科省・スポーツ庁・文化庁）・千葉県・千葉市の動き

千葉市の取り組み

	名称	主な内容
平成4年度	運動部活動指導者派遣事業	運動部活動の振興を図るため、専門的な指導が可能な民間指導者に、部活動の指導を担ってもらう。
平成14年度	複数校合同部活動を実施	学校の小規模校化に伴う部活動の少人数化などを背景に、複数の学校が合同で大会に出場するなどの対応を実施。
平成30年度	部活動指導員の配置	専門的な指導のできる顧問がいない部等に配置し、学校における部活動の指導体制の充実や顧問の勤務負担軽減を図ることを目的とし、単独での部活動指導ができる部活動指導員の配置を実施。
平成30年7月 平成31年3月	千葉市運動部活動ガイドライン 千葉市文化部活動ガイドライン	生徒のバランスのとれた心身の成長を促し、充実した学校生活を送ることができるようにするとともに、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフ・幅広い活動を実現するための資質・能力の育成を図るため策定。
令和3年度～	部活動地域移行モデル事業	スポーツ庁委託事業として、部活動の地域移行に向けたモデル事業（地域スポーツクラブ、民間事業者への委託）を実施

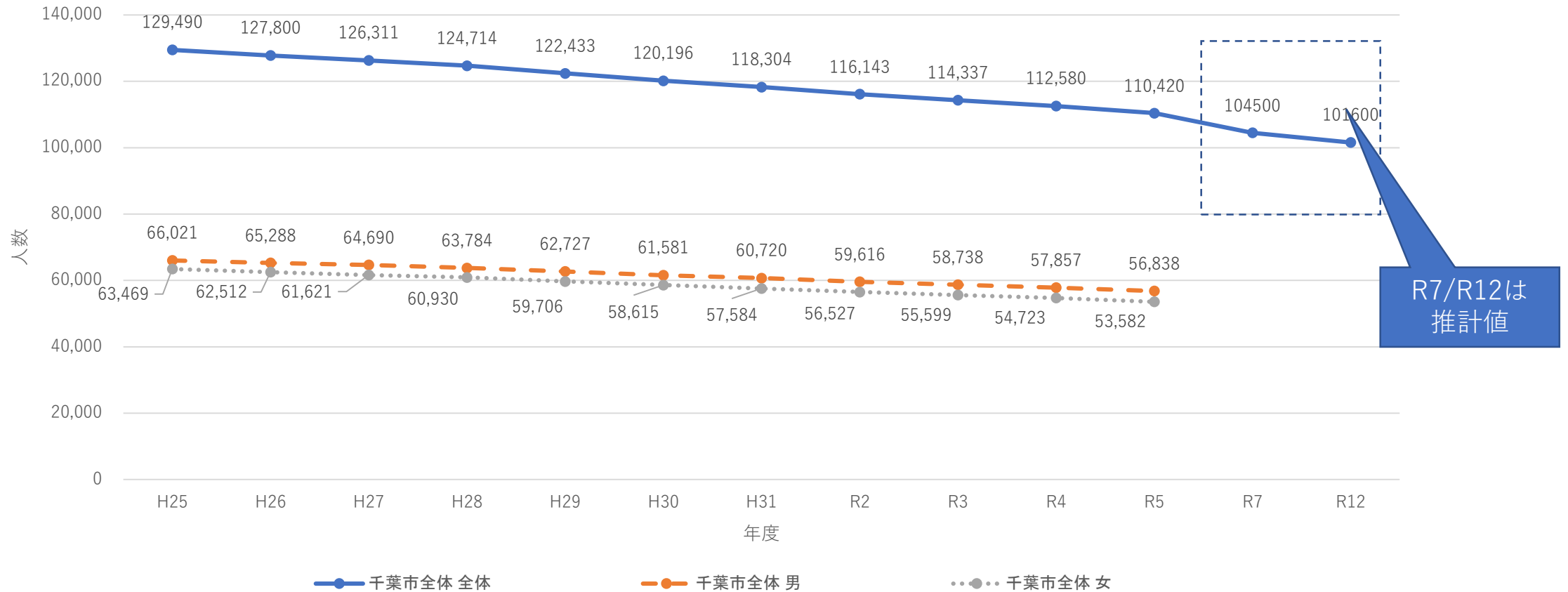
中学校体育連盟

令和5年度の総合体育大会から中学校単位での参加だけでなく、地域クラブでの大会参加を認める。

→千葉県全体で92の地域クラブの参加。本市でも、新体操や柔道、バレーボールなどの種目で参加

2 千葉市の部活動を取り巻く状況

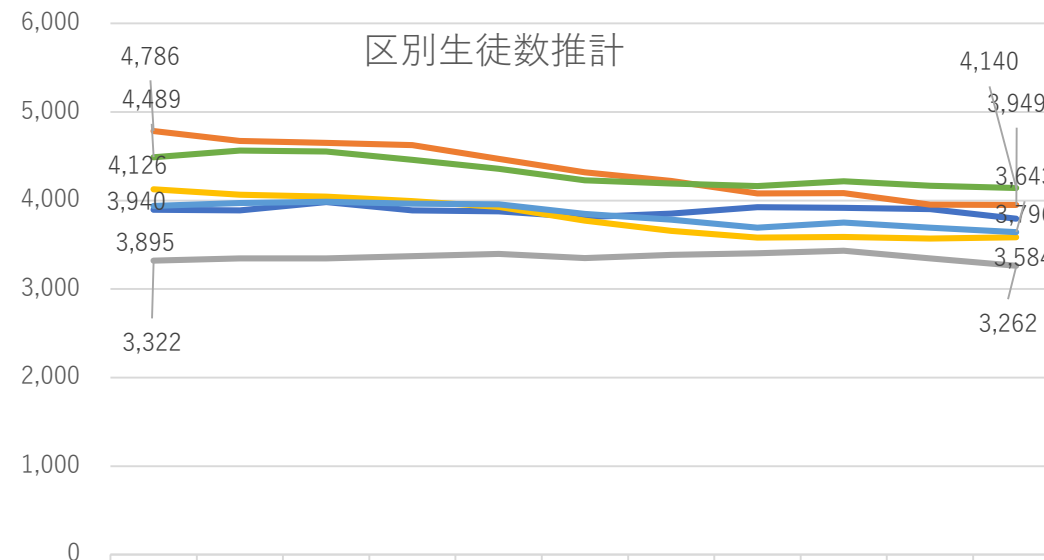
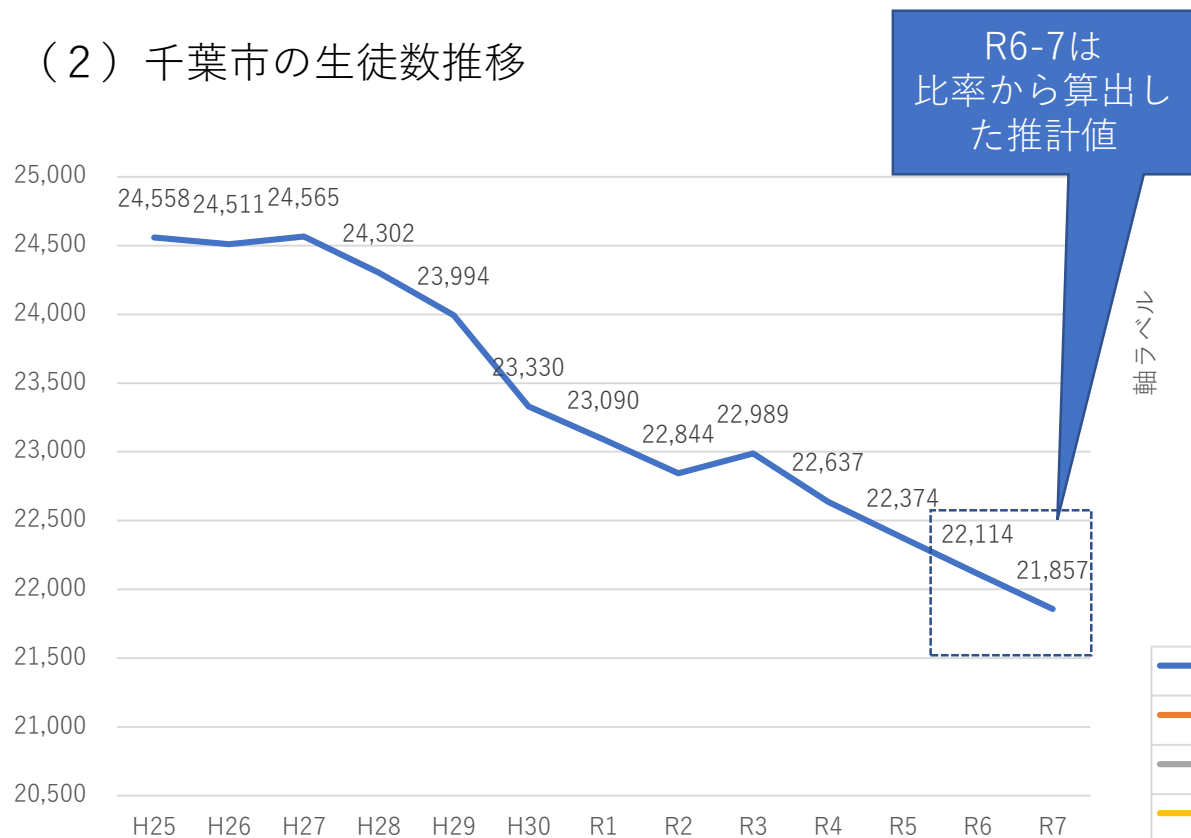
(1) 千葉市の0～14歳人口推計



- ・ R5は、10年前（H25）の約85%。1万9千人減。
- ・ R7は、R5よりも6千人減の104,500人を見込み、減少傾向は続くことが想定される。

2 千葉市の部活動を取り巻く状況

(2) 千葉市の生徒数推移

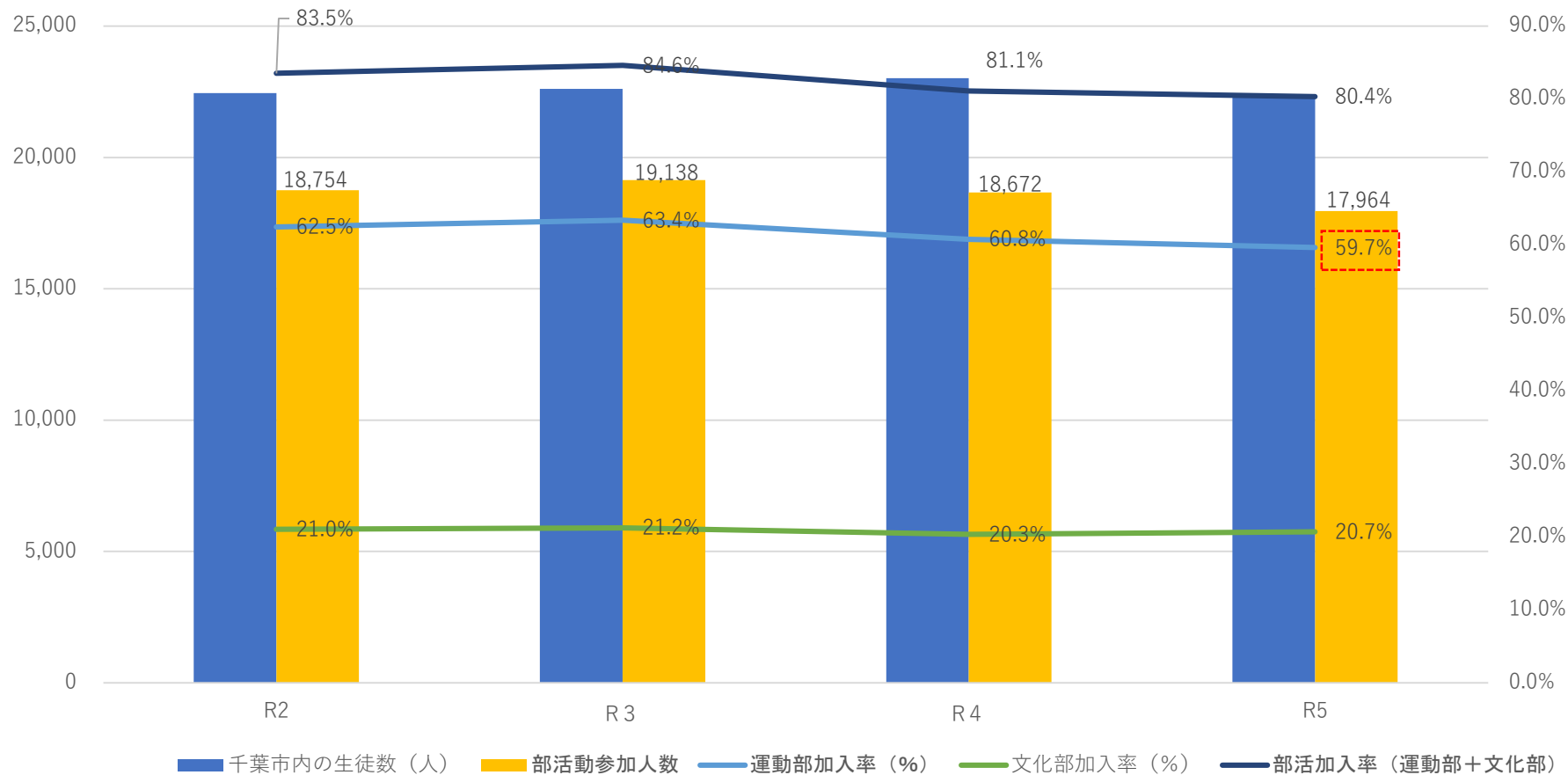


	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
中央区	3,895	3,888	3,983	3,887	3,877	3,814	3,852	3,924	3,916	3,903	3,796
花見川区	4,786	4,673	4,651	4,625	4,472	4,317	4,220	4,080	4,085	3,954	3,949
稲毛区	3,322	3,347	3,348	3,371	3,398	3,350	3,387	3,404	3,433	3,348	3,262
若葉区	4,126	4,067	4,044	3,995	3,928	3,774	3,657	3,580	3,589	3,571	3,584
緑区	3,940	3,973	3,985	3,964	3,959	3,848	3,783	3,694	3,750	3,693	3,643
美浜区	4,489	4,563	4,554	4,460	4,360	4,227	4,191	4,162	4,216	4,168	4,140

- ・H25年度24,558人と比較すると、R5年度は22,374人と、**約2千人減**。減少傾向が続くと、R7に2万2千人を下回る恐れ
- ・すべての区で生徒数は減少。特に花見川区（▲837人）、若葉区（▲542）の減少が大きい。
- ・中学校の生徒は、ピーク時の45,260人（S61）と比較し、**半減2万人以上減少**している。

2 千葉市の部活動を取り巻く状況

(3) 部活動参加生徒数・参加率



- ・部活動参加率は、直近4年ではR3の84.6%をピークに低下傾向。R5は80.4%。(約1万8千人)
- ・文化部参加率は横ばいが続くも、運動部参加率は漸減傾向。R5は60%を下回り、過去最低を記録。

2 千葉市の部活動を取り巻く状況

(4) 部活動数及び参加人数

運動部

	種目		設置数	設置率	参加人数
1	野球		52	96.3	1,000
2	バスケボール	女	50	92.6	1,050
3	サッカー		49	90.7	1,433
4	バスケボール	男	44	92.6	1,266
5	バレーボール	女	44	81.5	1,081
6	ソフトテニス	女	41	75.9	1,067
7	卓球	男	36	66.7	1,013
8	バドミントン	女	34	63.0	915
9	陸上		32	59.3	1,294
10	卓球	女	32	59.3	465
11	バドミントン	男	30	55.6	739
12	剣道		25	46.3	481
13	ソフトテニス	男	17	31.5	446
14	バレーボール	男	14	25.9	354
15	ソフトボール		9	16.7	124
16	柔道		9	16.7	106
17	ハンドボール	男	8	14.8	205
18	ハンドボール	女	7	13.0	123
19	水泳		4	7.4	42
20	硬式テニス		3	5.5	27
21	ヨット		2	3.7	30
22	合気道		1	1.8	76
23	新体操		1	1.8	2
24	体操		0	0	0
25	相撲		0	0	0
	合計		543		13,339

文化部

	種目	設置数	設置率	生徒数
1	美術	47	87.0	1,520
2	吹奏楽	46	85.2	1,498
3	PC・情報・科学技術	14	25.9	408
4	科学（自然・理科）	10	18.5	280
5	演劇	9	16.7	181
6	家庭科	7	13.0	187
7	文芸（図書・伝統文化）	7	13.0	61
8	合唱	5	9.3	53
9	クラフト	4	7.4	101
10	ボランティア	4	7.4	41
11	囲碁・将棋	3	5.6	52
12	茶道	3	5.6	52
13	書道	2	3.7	23
14	英語（ESS）	2	3.7	27
15	写真	1	1.9	52
16	軽音楽部	1	1.9	52
17	弦楽オーケストラ	1	1.9	37
18	放送	1	1.9	7
19	学	1	1.9	39
	合計	168		4671

2 千葉市の部活動を取り巻く状況

(5) 平均部員数（1 - 3年生）の推移

	H27	R1	R5	減少
陸上	46	41	40	▼
水泳	24	13	11	▼
体操	45	8	0	▼
新体操	11	12	2	▼
野球	22	20	19	▼
サッカー	41	35	29	▼
バスケットボール（男）	26	24	29	
バスケットボール（女）	24	22	21	▼
バレーボール（男）	26	18	25	
バレーボール（女）	27	23	25	
卓球	43	51	41	
ソフトテニス	49	40	37	▼
ソフトボール	16	16	14	▼
バドミントン	59	53	49	▼
ハンドボール（男）	23	22	26	
ハンドボール（女）	19	16	18	
柔道	10	8	12	
剣道	19	19	19	

単位：人

部活動毎の平均部員数は多くの種目で減少が続いている。（18種目中10種目）

2 千葉市の部活動を取り巻く状況

(6) 総合体育大会終了後の平均部員数（1 - 2年生）の推移

	H27	R1	R5	備考
陸上	30	27	25	▼
水泳	15	7	7	▼
体操	13	4	0	▼
新体操	15	13	0	▼
野球	14	13	12	▼
サッカー	25	21	18	▼
バスケットボール（男）	16	15	20	
バスケットボール（女）	14	14	14	
バレーボール（男）	17	10	16	
バレーボール（女）	18	15	15	▼
卓球	25	29	22	
ソフトテニス	30	24	22	▼
ソフトボール	12	11	7	▼
バドミントン	35	29	30	
ハンドボール（男）	16	17	16	
ハンドボール（女）	13	7	11	
柔道	14	9	12	
剣道	15	13	12	▼

単位：人

	H27	R1	R5	
部員数が10人以下の部活動数	106	136	112	
主な内訳	野球	16	19	22
	サッカー	5	9	12
	バスケ（女子）	16	13	14
	バレー（女子）	9	14	12
	剣道	8	11	10

単位：部

総合体育大会（7月）後は、3年生が部活動を引退することから部活動の平均人数が少なくなり、運動部全体の20%近くの部活で10人以下で活動している。

2 千葉市の部活動を取り巻く状況

(7) 中学校教員のうち、顧問となっている教員の人数（割合）

	人数	割合
中学校教員数※校長・教頭・養護等を除く	1,446人	
顧問（正・副顧問）となっている教員数	1,340人	93%
運動部担当顧問数	985人	68%
文化部担当顧問数	355人	25%

(8) 顧問の専門性（高校・大学での競技経験の有無）

	R5	高い	低い
運動部	53.2%	78.2%（野球）	25.6%（卓球）
文化部	41.4%	60.0%（吹奏楽）	12.5%（茶道）

2 千葉市の部活動を取り巻く状況

(9) 学校における働き方改革に関するアンケート調査（令和4年10月実施）

調査概要

- 調査期間：令和4年10月7日（金）から10月24日（月）まで
- 調査対象：全市立学校の教職員4672人
- 回答者数：2002人（43%）　うち中学校・中等教育学校教員は589人
- 実施方法：WEB調査

【回答結果抜粋】（抜粋の数値は属性を中学校教員に限定したもの）

- ・ 80時間以上の超過勤務を行っている教員は約30%（177人）
- ・ 超過勤務が発生する要因として、**部活動の指導を挙げた者は約23%（135人）**
- ・ 部活動の顧問について
「どちらかと言えば引き受けたくない」（24%）「引き受けたくない」（26%）
と、**顧問を引き受けたくない職員が50%**となっている。
- ・ 部活動の活動時間について（平日四日間一回当たり2時間、休日どちらか一日一回当たり3時間）
「長すぎる」（20%）「どちらかと言えば長すぎる」（24%）
と、**長時間と認識している職員が44%**となっている。

3 地域移行に関する取り組み

(1) 体制整備

地域移行に係る教育委員会学校教育部・市長部局生活文化スポーツ部の両部長及び関係各課を構成員とする「部活動地域移行検討委員会」を令和4年度に設置し、本市にふさわしい部活動地域移行の在り方について検討を開始。

(2) 実証事業

生徒にとって望ましい持続可能なスポーツ活動と学校の働き方改革の両立を実現していく準備を進めるため、国の委託事業を実施（令和3年度から運動部活動を先行実施。）

	学校	部活	対象生徒数	指導者
3年度	大椎中学校	陸上部	20	地域クラブ
4年度	大椎中学校	陸上部	22	地域クラブ
		サッカー部	11	プロスポーツチーム
		バドミントン部	46	民間事業者
	越智中学校	バドミントン部	27	民間事業者
	加曾利中学校・貝塚中学校	合同野球部	21(13,9)	民間事業者

【実証事業の成果】

ア 生徒

専門的な指導を受けられ、技術的な向上が図られた、普段と違ったメンバーと練習ができた。など、好意的な反応が多かった。一方で、活動場所が学校ではないことや、指導者との人間関係の構築に時間がかかるなどの課題があがった。

イ 保護者

子どもの感想などから好意的な感想や、専門的な指導を受けられたことを高評価している保護者が多かった。

一方で、教師ではない指導者から指導を受けることで、生徒との接し方などについての心配の声や、平日と休日の指導者間の連携についての課題を挙げる声があった。

ウ 顧問

指導時間の減少から負担軽減の効果や、生徒が専門的な指導を受けることができ、技能・意欲の向上につながるといった、生徒面のメリットを感じた一方で、平日と休日の指導方法についての違いが発生する可能性や、事故や生徒間のトラブル発生時の対応についての心配を挙げる声があった。

エ 教育委員会

学校ごとの契約であったため、事務作業の負荷が大きかった、全市展開する際には、運営方式について検討が必要。

3 地域移行に関する取り組み

(3) 指導者確保に向けた取り組み

ア 教職員の地域クラブ指導者として従事希望（兼職兼業）

調査概要

- 調査期間：令和4年12月～1月
- 調査対象：全市立学校に努める職員（会計年度任用職員なども含む）
- 回答者数：小学校1,698人 中学校1,243人
- 実施方法：WEB調査

【回答結果抜粋】

- ・兼職兼業での地域クラブ指導者として従事することを希望する人は**401人**（小学校：108人、中学校：293人）
- ・希望する教員で指導可能な種目は、現在の部活動数と大きな偏りがあり、指導者の確保が必要。
（スポーツ系347人、文化芸術系54人）

3 地域移行に関する取り組み

イ 地域のスポーツ・文化芸術団体へのアンケート

令和4年12月に中学生のスポーツ・文化芸術活動の指導者となる人材の有無について、スポーツ・文化芸術団体へアンケートを実施

ア スポーツ

- 対象：スポーツ協会、少年スポーツ連盟、スポーツ少年団、スポーツ推進委員、スポーツコーチャー
- 期間：令和4年12月～令和5年1月
- 回答者数：446名
- 指導可能者数：137名（約31%）主74名 補助63名

イ 文化芸術団体

- 対象：文化連盟所属団体（市美術協会、市音楽協会、市演劇連盟、市華道・茶道協会）、千葉県合唱連盟
- 期間：令和4年12月～令和5年1月
- 回答数：6団体（調査団体所属人数役2,000人）
- 指導可能者数：吹奏楽（数名）、美術（数名）、茶道（10名）、合唱（14名）等

【回答結果抜粋】

・地域指導者が可能な教職員・地域指導者の合計数と部活動数の差

種目名	部活動数（部）	小学校教職員	中学校教職員	小計（人）	地域指導者	指導者合計	指導者充足数
野球	52	7	64	71	50	121	69
バスケットボール	94	11	43	54	7	61	-33
サッカー	49	13	34	47	4	51	2
陸上競技	32	7	33	40	5	45	13
バレーボール	58	10	20	30	12	42	-16
ソフトテニス	58	1	27	28	2	30	-28
吹奏楽	46	3	21	24	1	25	-21
剣道	25	5	17	22	4	26	1
水泳競技	4	6	16	22	9	31	27
バドミントン	64	3	18	21	7	28	-36
卓球	68	1	20	21	6	27	-41
ハンドボール	15	4	10	14	0	14	-1
合唱	5	5	8	13	14	27	22
柔道	9	5	8	13	1	14	5
新体操	1	1	10	11	1	12	12
体操競技	0	1	9	10	0	10	10
ソフトボール	9	1	8	9	2	11	2
硬式テニス	3	2	4	6	6	12	9
演劇	9	2	1	3	2	5	-4
指導可能者数は延べ人数							

3 地域移行に関する取り組み

(4) 令和5年度

1. 体制整備

部活動地域移行推進協議会の設置し、学校関係者、スポーツ・文化芸術の関係者などが参加し、本市にふさわしい、持続可能な部活動の地域移行の在り方について検討を進めていく。

地域移行を推進するため、地域移行に関する専任の職員を教育委員会内に配置（部活動地域移行担当課長、主任指導主事、統括コーディネーター等）し、庁内・外との連携を強化し、地域移行を確実に進めていく。

2. 実証事業

スポーツ庁・文化庁の委託事業を受託し、地域移行に関する実証事業を実施する。

実施に当たっては、令和3・4年度の実証事業での明らかになった課題（実施主体の確保、コーディネーターの確保など）などを解決できるよう、委託内容を精査し、実施する。

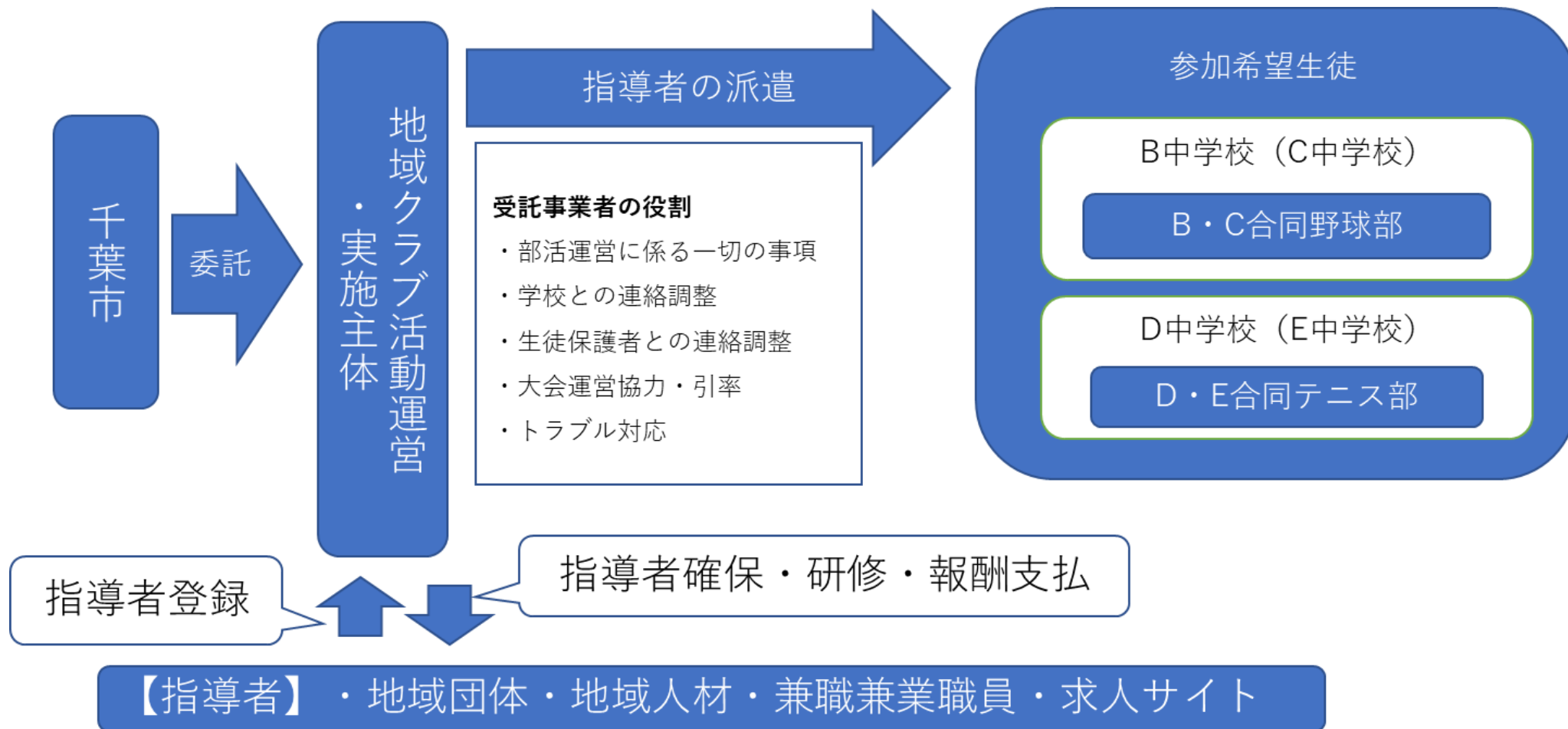
3. 児童生徒・保護者・教職員へのアンケート

部活動の活動状況やスポーツクラブ・習い事などの学校以外でのスポーツ・文化芸術活動、地域クラブへのニーズ等を把握するため、児童生徒及びその保護者を対象とするアンケートを実施。

また、教職員へのアンケートを実施し、部活・地域クラブに関する意識等を調査する。

3 地域移行に関する取り組み

【今年度の実証事業】



4 各団体等の現状等

1	千葉市小中学校長会
2	千葉市小中学校体育連盟
3	千葉県音楽振興協議会
4	千葉市教職員組合
5	千葉市PTA連絡協議会
6	千葉市スポーツ推進委員連絡協議会
7	公益財団法人千葉市スポーツ協会
8	千葉市文化振興財団

I 改革推進期間における地域移行の方向性

	R 5	R 6	R 7	R 8
休日の部活動 地域移行	<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行・地域連携の実証事業 運動部(12)・文化部(3)の15部活を対象とする実証事業 ・R6実証事業対象校の決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行の対象校を拡大し、30拠点程度で実証事業を実施 	<p>すべての中学校(54校)で、複数部活の実証事業を実施。</p>	<p>休日部活動 完全地域移行</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な活動場所の提供について検討 ・平日部活動地域移行について調査研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校部活以外の活動提供開始 		
県	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村 1 部活地域移行 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校 1 部活地域移行 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校複数部活地域移行 ・全部活動地域移行完了計画策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日に学校部活動を実施する場合は、<u>原則として部活動指導員等による運用</u>

I 改革推進期間における地域移行の方向性

- 【R5年度】・R4年度までの実証事業の成果を踏まえ、スポーツ系部活動12部活、文化芸術系3部活を拠点とする、地域連携・地域移行に関する合同部活動方式による実証事業を実施する。（文化芸術系の吹奏楽部は単独部活での実証事業）
- ・学校部活動以外の多様な活動内容の提供について調査・研究
- 【R6年度】・地域連携・地域移行の対象校を拡大し、30部活程度を拠点とする実証事業を実施。
- ・学校部活動以外の活動内容の提供開始
- 【R7年度】・すべての中学校（54校）で、複数の部活にて地域連携・地域移行を実施。

→R8年度 全ての学校における休日部活動完全地域移行を目指す

なお、平日の地域移行については、国・他自治体の動向や休日の地域移行の状況を考慮し、別途検討を行う。

参考：文部科学省が例示する運営形態の類型例のイメージ

類型例		運営形態
区分	運営例	
市区町村運営型	地域団体・人材活用型	市区町村教委が地域の団体（地域スポーツ団体や地元企業、大学等）や地域の指導者と連携し、運営する形で実施
	任意団体設立型	市区町村が任意団体（一般社団法人や協議会等）を創設し、任意団体が運営する形として実施
	競技団体連携型	市区町村が競技団体と連携して運営する形として実施
地域スポーツ団体等運営型	総合型地域スポーツクラブ運営型	総合型地域スポーツクラブが運営する形として実施
	体育・スポーツ協会運営型	体育・スポーツ協会が運営する形として実施
	民間スポーツ事業者運営型	民間スポーツ事業者が運営する形として実施
その他	その他の類型	学校と関係する団体や地域学校協働本部等が運営する形として実施

参考 他市の事例

▶ 柏市

部活動の地域移行の受け皿団体として設立された「一般社団法人柏スポーツ文化推進協会」が柏市全域の休日の地域スポーツクラブ・文化芸術クラブの運営を実施。基本的には土日の部活動は行わず、地域クラブへ移行。地域クラブでの活動を希望する生徒は、費用を負担の上、参加する。（R5.8本格活動スタート）

指導者の7割程度は、兼職兼業による教員が担う。

▶ 掛川市

「かけがわ地域クラブ」として、掛川市スポーツ協会・掛川市文化財団が地域クラブを創設・運営予定。また、地域団体が特色あるクラブを創設・運営し、自治体が公認する「地域クラブ公認制度」を運営開始。

▶ 東京都港区

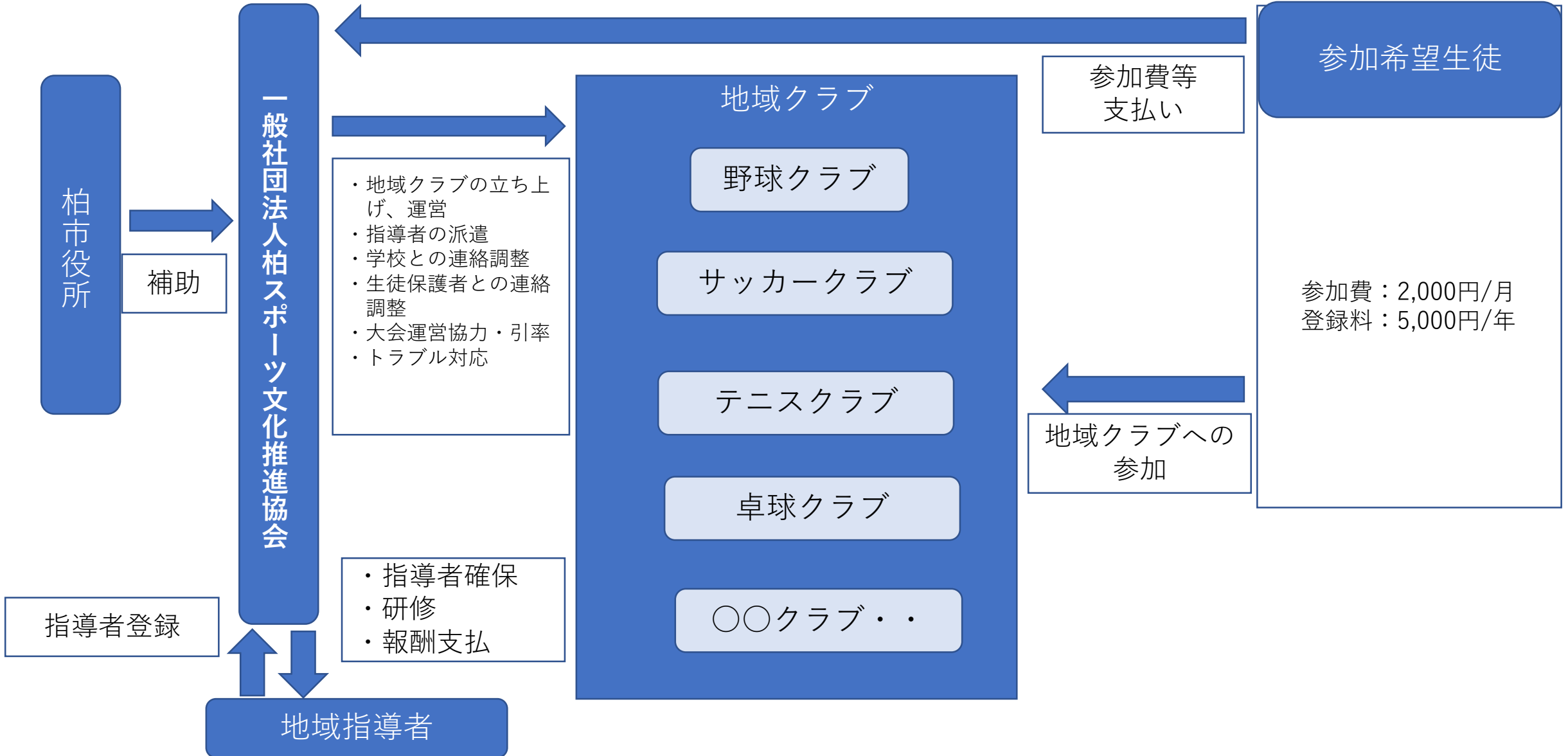
すべての部活動に対して外部指導者を配置する業務委託を行い、勤務負担の軽減を図る。

参考 他市事例（柏市・地域スポーツ団体等運営型（協会運営型））

生徒数：10,549人

部活動数：146部活

費用：3,200万円（休日のみ）

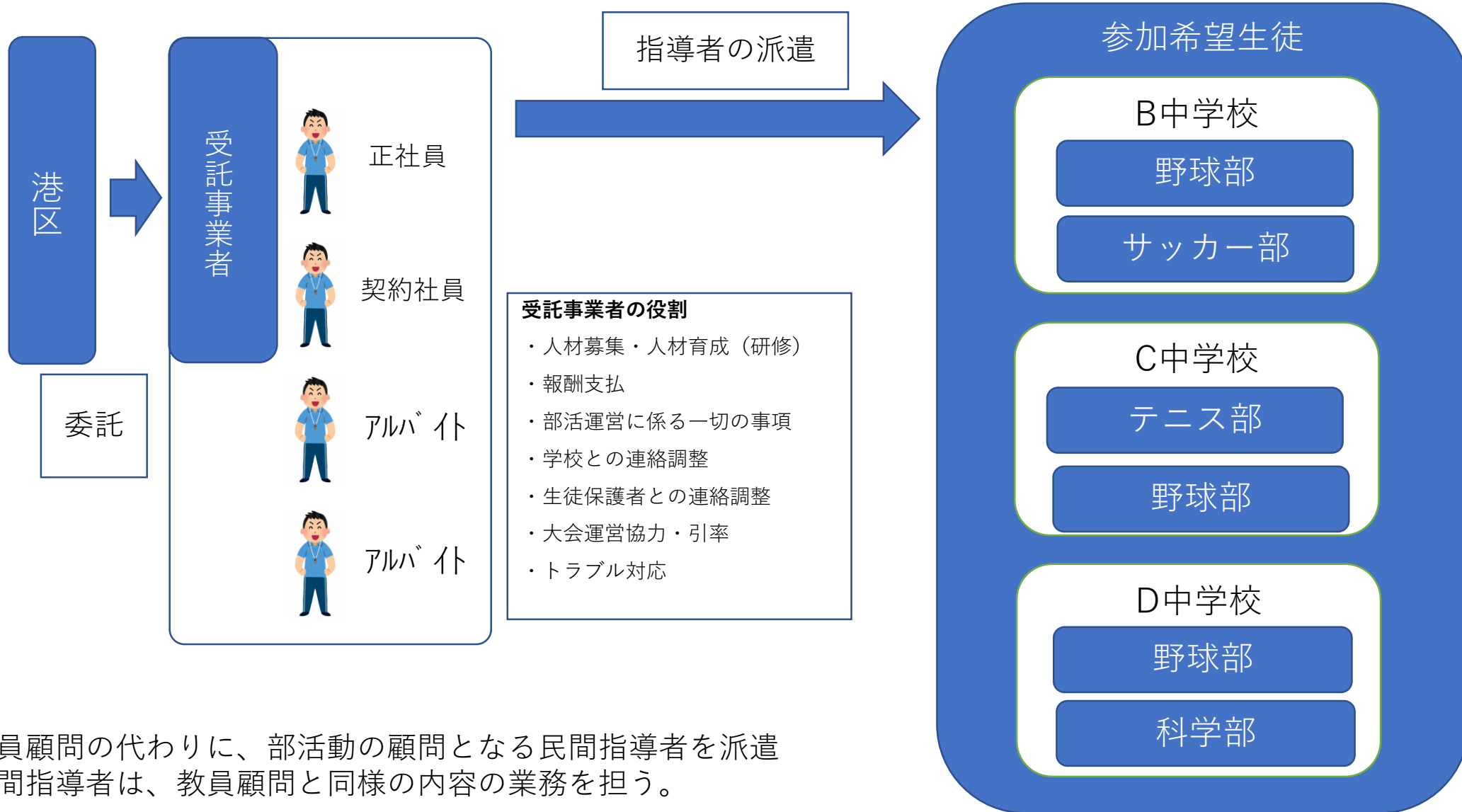


参考 他市事例（港区・地域スポーツ団体等運営型（民間スポーツ事業者連携型））

生徒数：2, 221人

部活動数：104部活（10校）

費用：1億3,070万円（平日含む）



教員顧問の代わりに、部活動の顧問となる民間指導者を派遣
民間指導者は、教員顧問と同様の内容の業務を担う。

参考 他市事例（掛川市）

「かけがわ地域クラブ」として、掛川市スポーツ協会・掛川市文化財団が地域クラブを創設・運営予定。また、地域団体が特色あるクラブを創設・運営し、自治体が公認する「地域クラブ公認制度」を運営開始。